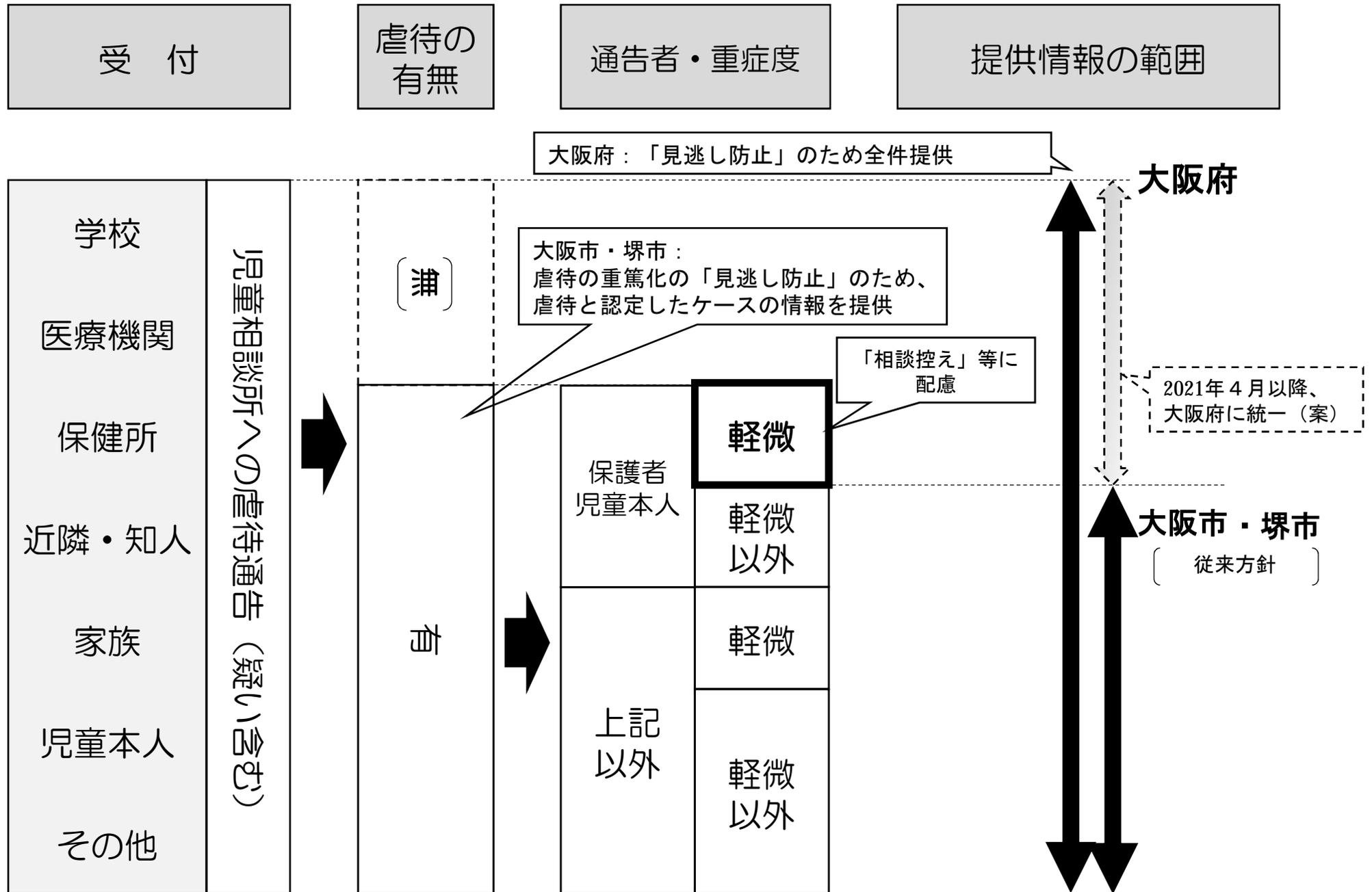


児童相談所から警察への提供情報について



「相談控え」等に関する検討状況について

「全件」とした場合の懸念事項	検討状況																
<p>児童本人や家族からの相談が控えられるのではないかと (相談控え)</p>	<p>通告事案の全件を警察と共有している大阪府では、全件情報共有開始後も件数は増加（相談控え等の影響は認められない）</p> <p>【参考】大阪府における児童虐待相談対応件数の推移</p> <table border="1" data-bbox="808 416 2094 692"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>前年度比 実数 (割合)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童虐待相談対応件数</td> <td>11,306</td> <td>12,208</td> <td>+902 (+8.0%)</td> </tr> <tr> <td>うち児童本人から</td> <td>141</td> <td>151</td> <td>+10 (+7.1%)</td> </tr> <tr> <td>うち家族から</td> <td>993</td> <td>1,211</td> <td>+218 (+22.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全件情報共有開始時期：H30年8月の児童虐待通告から</p>		H29年度	H30年度	前年度比 実数 (割合)	児童虐待相談対応件数	11,306	12,208	+902 (+8.0%)	うち児童本人から	141	151	+10 (+7.1%)	うち家族から	993	1,211	+218 (+22.0%)
	H29年度	H30年度	前年度比 実数 (割合)														
児童虐待相談対応件数	11,306	12,208	+902 (+8.0%)														
うち児童本人から	141	151	+10 (+7.1%)														
うち家族から	993	1,211	+218 (+22.0%)														
<p>警察がすぐに事件化するのではないかと</p>	<p>大阪府では、事件化ありきではないことを警察に確認のうえ実施（警察に提供した情報をもとにすぐさま事件化された例はない）</p>																
<p>共有の対象事案が多いため</p> <p>①重大な児童虐待を見落とすリスクが増大するのではないかと</p> <p>②現場の負担が増え、通常業務に支障が出るのではないかと</p>	<p>①対応件数が増加する中、見落としのリスク低減のためには、児童相談所と警察とのダブルチェックが有効 また、重大な事案はすぐさま共有するなど、共有の時期や方法を工夫することにより対応可能</p> <p>②児童相談所で使用しているシステムを改修し、全件情報共有に必要な情報を機械的に抽出可能とするなど、現場の負担増を軽減</p>																

 上記を踏まえ、子どものいのち・安全確保により資する方法について協議